



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市北区中百舌鳥町六丁PRJ	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区中百舌鳥町六丁、堺市北区中百舌鳥町三丁	0.7	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,105.62 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.2	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.4	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	2.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	2.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市北区中百舌鳥町六丁目PPF	階数	地上14F
建設地	堺市北区中百舌鳥町六丁目828番、8	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、防	平均居住人員	65人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年12月23日
敷地面積	652㎡	作成者	李谷一級建築士事務所 李谷 真一
建築面積	235㎡	確認日	2022年12月23日
延床面積	2,106㎡	確認者	李谷一級建築士事務所 李谷 真一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.1
光・視環境	2.6
空気質環境	3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.2
耐用性	2.8
対応性	2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化	3.1
地域環境	2.3
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	居住者の快適な生活環境を目指し、断熱性の高いマンションを計画している。	その他 特に無し
Q1 室内環境	特に無し	Q3 室外環境(敷地内) 接道部分には極力緑地をもうけて街路空間を演出している。
LR1 エネルギー	建築物省エネ法一次エネルギー消費量基準に適合	LR3 敷地外環境 特に無し
Q2 サービス性能	Gbitクラスのブロードバンドが利用可能	
LR2 資源・マテリアル	特に無し	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される